

先輩レポート

16年間勤めた会社を辞め、独立。納得してやれる仕事と家族との時間を手に入れる。



PROFILE

阿藤淳一さん 39歳

7-Colors 鶴岡ガラスアート工房

2010年11月開業。大学卒業後、地元山形の特産品を売る企業に就職。16年勤めた後、自宅敷地内に工房をつくり独立。妻と子供2人の4人家族。趣味はソフトボールと子供が所属する少年野球チームの試合観戦など。

打ち込めるものが欲しい
家族の理解
地域の役に立てる

**子供の成長を側で見守れない生活に疑問。
家族との時間を手に入れるため独立を決意。**

地元企業に16年間勤め、インターネット部門の立ち上げを担当し、それなりの実績も残してきた阿藤氏。体調を崩したことをきっかけに、これからは納得してできる仕事がしたい、子供や家族と過ごす時間を大切にしたいと退職を決意した。不景気の中、地元企業への再就職は難しいと判断。独立への道を模索する中、芙蓉商事のモノづくり事業に出会う。もともとモノづくりが好きだったこともあり、夫婦そろって制作無料体験会へ。そこで様々な作品を目にし、ガラスアートそのものにも興味をもったこと、勤務時間を自分で設定できるので家族との時間が作りやすいこと、また、子供も含め家族みんなが賛成してくれたことを理由に、独立を決意した。



**地元企業やショップとの提携に軸を置いた
事業計画書により融資が決定。開業に至る。**

阿藤氏が真っ先に取り組んだのは、開業資金の確保と地元におけるガラスアート事業の需要開拓。開業資金については、地元銀行などの勤めもあって、創業支援融資を利用することにした。その認可を頂くために2か月かけて事業計画書を作成。同時に、金融機関に対し、「地元企業と提携することで地域に密着した事業展開が可能」ということを具体的に示そうと、地元企業やショップに度々足を運び、コラボレーション企画の可能性を探っていた。多くの友人・知人の助けもあって、江戸時代創業の窯元や、カーオーディオショップ、看板店との提携話が浮上。それらをきちんとアピールできたこともあって融資が決定し、2010年11月、ついに開業した。

**自分の不注意が原因で
丹精込めて作り上げた作品が真っ二つに。**

風景写真を撮るのが好きで、それをガラスアートにしたいと知り合いに話したら、地元旅館のギャラリーに作品を展示させてもらえることになりました。何時間もかけて制作し、「できた！」と喜んだのも束の間、作品は真っ二つに。考え事をしていて、厚さ2mmのガラスの上に手を置いてしまったのが原因ですが、自分の不注意ゆえに誰も責めることができず、ただただ悔やむばかりでした。

**地元企業と提携し、新たな需要を開拓中。
将来の夢は、子供に仕事を引き継ぐこと。**

「地元企業やショップと提携し、地域特性を活かした商品をどんどん発信していきたい」と阿藤氏。窯元やカーオーディオショップ以外にも、地元企業との提携話が進行しており、新たな需要をつくり出す手ごたえを感じているという。これまで忙しい時は、デザイナーとして

別会社に勤務する奥さんの助けを借りていたが、2011年9月からは夫婦で協力して仕事と家庭の両立に努めていくという。「独立してよかったことは、意志決定が自分にあるので、納得して仕事に向き合うことができること。仕事自体が楽しいので、熱中していると徹夜してしまうこともあるけれど、まったく苦にならない」と阿藤氏。将来の夢は、この仕事を子供に引き継ぐことだという。



**町内会やPTAなど、
地域や学校の行事に大忙し。**

独立して家族と過ごす時間が増えました。町内会や子供会、PTA、スポーツ少年団などの役員を頼まれることも多く、地域や学校の行事に大忙し。困ったことに、仕事をする時間がないほどです(笑)。しかし、そのお陰で地域の方との交流が深まり、新しいお仕事の話を頂戴したりするので、この縁は大切にしていきたいですね。直近の目標は、旅費を貯めて家族みんなで海外旅行に行くことです。



●開業資金:575万円【マシン(建築資材も彫刻可能なSGWタイプ)・工房ハウス・設備費】 ●7-Colors 鶴岡ガラスアート工房の所在地:山形県鶴岡市



創業37年の内装インテリア企業の独立事業部。法人向けの仕事を中心に事業拡大を狙う。



「主婦以外の私がいる」。自分の手で収入を生む喜びと、人と出会える楽しさを実感。



開業1年目で収入が前職の2倍に。2年目には、月収100万円以上を達成！